



ミミズはどっちが頭あたまでどっちがしっぽなの

すす ほう あたま 進む方が頭

ミミズは、頭あたまを先さきにして進すすみます。進すすんでいる方向ほうこうに、頭あたまがあります。頭部とうぶに近い方ちかには、色いろの変わった、少しすこふくらんだ帯おびのような部分ぶぶん（環帯かんたいといいます）があるので、すぐわかります。

はら せ 腹と背

また、腹はらと背せ中の別わかれもあります。地面じめんにつけている方ほうが腹はらとすれば、反対側はんたいがわが背せです。背面はいめんの色いろは、腹側はらがわより色いろがこくなっています。

全身ぜんしんにかたい毛けが生はえており、進すすむときは、腹はらがわの毛けがすべり止どめのはたらきをします。

からだ ミミズの体

頭あたまには口くちがあります。体からだの中なかはほとんどが消化管しょうかかんで、食道しょくどう、胃い、腸ちようと続つづき、後うしろに肛門こうもんがあいています。土つちには、植物しょくぶつや動物どうぶつのくさりかけの栄養分えいようぶんがたくさん含ふくまれています。ミミズは、これたを食たべています。ミミズは、土つちをまるごと飲のみこみ、栄養分えいようぶんだけを消化しょうかして残りのこの土つちをそのまま出だします。（監修・中山 周平）

環帯のあるほう
が頭だよ！

